

# 障がい者の福祉サービスが大幅に広がります

## 4月から障害者自立支援法が施行

障害者自立支援法が4月から施行されます。この法律は、これまで障がい種別ごとに異なる法律に基づいて自立支援の観点から提供されてきた福祉サービス、公費負担医療などについて、共通の制度の下で一元的に提供するものです。今回は、新たな制度の概要についてご案内します。

↓地域福祉課公内線2656

## 変更点5つのポイント

障がいの種別（身体障がい、知的障がい、精神障がい）にかかわらず必要なサービスが利用できるように、サービス利用の仕組みを一元化し、施設や事業も再編します。

市町村が責任をもって一元的にサービスを提供します。

利用者がサービスの利用量と所得に応じた負担を行うとともに、国と地方自治体の費用負担

をルール化して財源を確保し、必要なサービスを計画的に充実します。

一般就労への移行を目的とした事業を創設し、障がい者が働きやすい社会をめざします。

公平なサービス利用のために支給決定の仕組みを透明・明確化します。サービスの必要性を判定する全国統一の基準や市町村審査会の仕組みを導入します。

## 新しいサービス（10月から施行）

新しい障がい者の福祉・医療サービスは、「自立支援給付」と「地域生活支援事業」を柱とした内容です。

### 自立支援給付

介護給付 在宅や施設の介護サービス。障がい程度区分によって受けられるサービスが異なります。

### 訓練等給付

自立訓練 就労支援など。自立支援医療 従来の「精神通院医療」「更生医療」「育成医療」を統合（4月から施行）。

### 補装具

身体機能を補完代替する補装具を購入する費用を支給。

### 地域生活支援事業

地域の特性や個人の状況に合わせて柔軟に実施する「コミュニケーション支援」「移

## サービスの利用決定

「介護給付」「訓練等給付」の利用にあたっては、障がいの程度、介護者や生活の状況、本人や家族の意向、訓練や就労についての評価などを勘案し、サービスの必要性を総合的に判定して決定します。

## 利用者の負担について（4月から施行）

定率負担 サービス利用負担は、利用料の1割の定率負担になります。ただし、所得ごとに上限額が設定されています。

## 利用者負担の軽減策

上限額を設定 定率負担では、所得に応じて4つの区分で上限額が設定されます（別表）。

## 利用者負担の軽減策

学識経験者などによる「市町村審査会」での検討

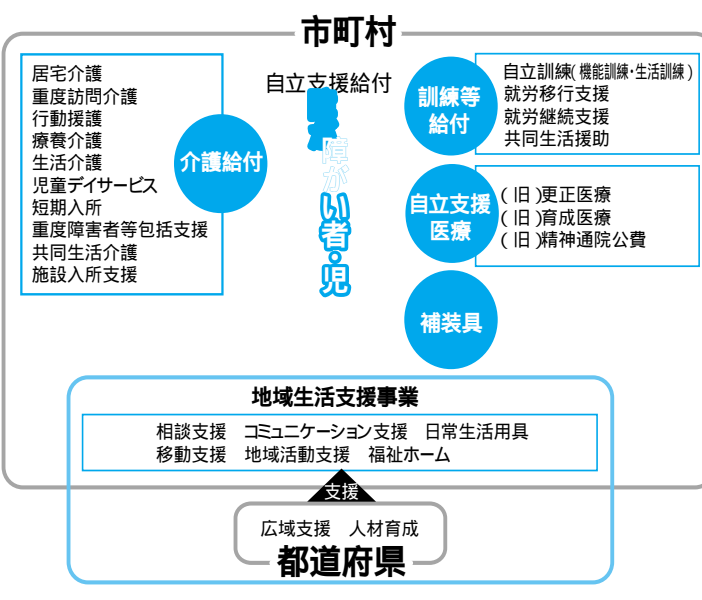
サービス利用希望者は、一次・二次判定の結果から区分「1」「6」または「非該当」

「1」「6」または「非該当」

「1」「6」または「非該当」

「1」「6」または「非該当」

障害者自立支援法による総合的な自立支援システムの全体像



入所施設などでの個別減免入所施設等（20歳以上）やグループホームを利用する場合、市民税非課税世帯で預貯金などが350万円以下の方は、定率負担を減免します。

社会福祉法人による減免社会福祉法人が提供する通所サービス、入所施設など（20歳未満）やホームヘルプサービスを利用する場合、3年間経過措置として、市民税非課税世帯で収入や資産が一定以下の方は、ひとつの事業所における利用者負担額の上限が半額となります。

同一世帯にサービス利用者複数いる場合の負担上限同一世帯に障がい福祉サービスを利用する方が複数いる場合や、障がい福祉サービス利用者介護保険のサービスを利用した場合、月額負担上限額は変わりません。

食費などの軽減措置・入所施設・低所得者を対象に、食費・光熱水費を負担しても一定の金額が手元に残るように補足給付があります。

利用者負担上限額（月額）

区分	負担上限額
市民税課税世帯	37,200円
市民税非課税世帯	24,600円
市民税非課税世帯で本人収入が80万円以下の方	15,000円
生活保護受給世帯	0円

生活保護への移行防止策 サービス利用負担のために生活保護の対象となる場合には、対象とならない額まで定率負担の上限額と実費負担を引き下げます。

・通所施設 低所得者の場合、施行後3年間、食費の利用者実費負担は食料費のみ（人件費相当分は除く）とします。

講演と交流のつどい「響きあうまちユニバーサルデザイン」の彼方へ」三鷹市、三鷹市障害者福祉懇談会主催

障がい者とともに地域で活動するみなさんと一緒に、「心のバリアフリー」について考えてみませんか。

2月18日（土）正午～午後4時、市民協働センターで、第一部（正午～午後1時45分）講演「バリアフリーのまちづくり」共生社会とわたしたち（全国ユニバーサルサービス連絡協議会代表の井上滋樹さん）

第二部（午後2時～4時）「地域をつなぐ実践交流会」障がいのある人たちの地域生活を支援するために、市内の障がい者福祉施設や作業所（三鷹はなの会・ゆうゆう舎 巣立ち会・巣立ち風、障害者地域自立生活支援センター・ぽっぽ、アクティビティセンターはばたけ）のみなさんによる発表。

当日、直接会場へ。

↓地域福祉課公内線2656

傍聴できます「介護保険事業計画検討市民会議」

2月17日（金）午後7時から、教育センター3階大研修室で、市民のみなさんからの意見を踏まえた計画案の検討など。市民会議後に健康福祉審議会を開催。

当日、午後6時50分までに直接会場へ。

↓高齢者支援室公内線2684・地域福祉課公内線2612

市民ふくし講座「成年後見制度や財産管理・遺言などについて」

三鷹市社会福祉協議会主催、対象は在勤・在学を含む市民。

2月5日（日）午後1時30分～4時、福祉会館で、講師は成年後見センター・リーガルサポート司法書士の前田裕さん、稲岡秀之さん。

当日、直接会場へ。定員80人。

↓同協議会権利擁護センターみたか公461203

よろず介護相談会

福祉会館在宅介護支援センター主催。

2月16日（木）上連雀堀合地区公会堂、17日（金）上連雀堀北地区公会堂。時間はいずれも午後1時30分～3時30分。

いずれも当日、直接会場へ。

↓三鷹市社会福祉協議会 ☎ 3505

恩給欠格者、引揚者のみなさんへ

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、旧軍人などで恩給などを受けていない恩給欠格者の方、終戦に伴い国外地域から引き揚げてこられた方に、内閣総理大臣の書状などを贈呈しています。

資格要件など、くわしくは同基金 ☎ 0120 234 933・<http://www.heiwa.go.jp>

請求書類は地域福祉課（市役所2階）にあります。

「三鷹市社会福祉協議会への寄付」

一般寄付（敬称略）

3万円（有）大崎電工天崎勝

10万円（株）NTTデータ第二公共システム事業本部

第一公共システム事業部チャリティバザー実行委員会

4千450円 山梨靖子 5千円 米田登美子 3万円 東川敏男 6万3千609円

香典返し寄付 5千円 山岡様より

指定寄付（市の福祉のために）

200万円 前田成貴 30万円 ポスコ・ワールド

二ユーヨーク娯楽場お客様御一同 10万円 菊地長代

5千円 五味美智子

千800円 レクリエーション・ダンス 2万5千円 中山操子 5千円 三鷹市社会教育会館のつどい模擬店部門有志一同 5万6千570円

三鷹市老人クラブ連合会翁媼美会 1万円 金子和子 2千円 吉野壽夫 6千261円 角田整形外科の患者様とスタッフ一同 5千365円

石井福江 2千円 高井朝子 1万円 歩数計愛好者 5千円 ダンスサークル三鷹 6千円 JAM横河電機労働組合 1万741円 リサイクル市民工房（募金箱） 1万587円 三鷹駅市政窓口 4万5千600円 リサイクル市民工房 10万9千円 匿名（4件）

愛の一円玉募金

1千609円 矢澤八千男

1万1千738円 富澤タイ子

4千302円 深明会

北野東晴クラブ 1千948円 塚いきいき俳句会 308円 塚本澄子 1千148円 常盤会 2千86円 下連雀羽衣会 4千296円 牟礼寿会 1万7千590円 平寿会 1千274円 四ツ葉ときわクラブ 5千77円 菊池たけ子 1千34円 中原三葉会 円 三鷹市赤十字奉仕団 6千921円 三笑会 729円 山中百生会 154円 石谷孝子 1万111円 三鷹の森の体操会 249円 角田整形外科の患者様とスタッフ一同 437円 田中武士 386円

松田伸子 福祉基金 70万円 三鷹不動尊井口院 ボランティア基金 2万8千円 古切手寄付者一同

香典返し寄付 5千円 山岡様より

指定寄付（市の福祉のために）

200万円 前田成貴 30万円 ポスコ・ワールド